

# 設置計画履行状況等調査の結果等について (平成24年度)

## 1. 調査の目的

設置計画履行状況等調査（以下「アフターケア」という。）は、文部科学省令（※1参照）及び告示（※2参照）に基づき、大学の設置認可時等における留意事項及び授業科目の開設状況、教員組織の整備状況、その他の設置計画の履行状況について、各大学からの報告を求め、書面、面接又は実地により調査を行い、各大学の教育水準の維持・向上及びその主体的な改善・充実に資することを目的として実施するものである。

## 2. 実施体制

大学設置・学校法人審議会大学設置分科会では、大学の質保証における「事前・事後の評価の適切な役割分担と協調」を確保する観点から、アフターケア等の取組の改善充実を図るため、平成17年5月、運営委員会の下に「設置計画履行状況等調査委員会」（以下「調査委員会」という。）（別紙1）を設置し、調査にあたっている。

調査委員会の調査審議事項は、大学設置分科会の決定に基づき、①アフターケアの実施、②アフターケアの改善方策、③その他認可及び届出後の質保証に係る事項となっており、今般、平成24年度の調査が終了したものについてその結果と今後の調査の在り方について以下のとおり取りまとめた。

なお、法科大学院については、これまでと同様に法科大学院特別審査会において、また、教職大学院については、教職大学院特別審査会において、それぞれアフターケアを実施することとし、同審査会に付託する手続をとった。

アフターケアの実施方法は、書面調査、面接調査、実地調査のいずれか又は併用となっている。

書面調査は、設置後から設置計画が完成年度までの間の認可申請により設置された大学等（215件）及び届出により設置された学部等（834件）全てに対して報告を求めて実施した。書面調査では、事務局において定員管理状況を把握するとともに、設置時の計画からの変更の状況を確認した。また、すでに卒業生を輩出している、いわゆる完成年度を迎えたもののうち、昨年度に留意事項を付した大学（19件）については、当該留意事項の履行状況に対する報告を求め、調査を行った。

面接調査は、完成年度に達する新設の大学院（7件：認可）及び書面調査に加え更に詳しく状況を確認する必要があると認められた大学（8件：認可1件、届出7件）等、合計20件（認可10件、届出10件）を対象に実施した。

実地調査は、大学関係者からの説明聴取、学生インタビュー及び施設設備等の調査を行うものである。認可時に留意事項を付したものの等のうち、昨年度の設置審査やアフターケアあるいは本年度の書面調査の結果として、当該大学を訪問して調査する必要があると判断されたもの等を対象に実施した（38件：認可24件、届出14件）。この中には、完成年度に達するために実地調査を行った大学（14件：認可）が含まれている。

## 3. 平成24年度調査結果の概要

本年5月の大学設置・学校法人審議会大学設置分科会において、留意事項を付すに当たっては、「中長期的な大学教育の在り方に関する第二次報告」（平成21年8月中央教育審議会大学分科会）において、「設置認可時や設置認可後の設置計画履行状況等調査における指摘事項を認証評価で活用するなど、設置認可と認証評価との連続性を確保」することが、今後の検討課題として挙げられていることを踏まえ、アフターケアにおける「留意

事項等の付し方」について、①留意事項を付す際には、記述可能な範囲で、より具体的な背景等の記述を行うこと、②留意事項を付す際の主な観点を共有し、留意事項の内容や水準に大きなばらつきがないようにするとともに、要望事項についてはその他意見として大学に別途伝達し、大学の自主的な改善を促すこととした。

全体としては、科目開設や教員配置など設置計画が着実に履行されており、変更がある場合も、相応の理由や止むを得ない事情があったものと認められる。しかしながら、一部には、設置計画を着実に履行する必要性に対する認識不足などを背景に、履行状況が不十分な大学が見られ、全体的に留意事項が付される大学は増加傾向にある。

特に、設置認可後から完成年度に至るまでの間における各種変更計画に係る手続に対する理解不足により、教員の新規採用又は担当科目の追加若しくは職位の昇格の場合に大学設置・学校法人審議会の教員審査を受けていないなど、変更の際必要な手続を経ていないという、極めて不適切な事例も見られた。

今回のアフターケアの結果として、各大学に付した留意事項は別紙2のとおりであるが、これらの留意事項は、今年度の調査時の大学の状況に基づき付したものであることを付言しておく。

本年度の調査を踏まえ、当該留意事項が付されている大学はもとより、その他の大学においても特に留意していただきたい点を以下にまとめた。

#### (設置計画全般)

- 入学定員や教育課程、教員組織等の大幅な変更を行っている大学があり、総じて、構想段階での見通しの甘さや設置計画の準備不足等によるものであるため、設置者においては大学を運営する責任の重みを十分自覚していただくことが求められる。

#### (入学定員管理)

- 各大学は、様々な工夫の下で入学定員の充足に向けた取組を行っているが、当初計画の甘さなどから、学部学科等が開設して以来、入学定員の未充足が続いている大学も見られた。このため、各大学においては、学生や社会からのニーズを踏まえ、今後の入学定員の確保に向けた具体的な取組が求められる。
- 他方、入学定員を大幅に超えた学生を受け入れた結果、適正な入学定員の管理が必要と考えられる大学も見られた。各大学においては、それぞれの教育環境を踏まえた教育の質の確保を図るため、自ら定めた定員に基づいた学生数の管理が必要である。

#### (教育課程等)

- 1単位に必要な授業時間数については、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）において、講義や実習等、授業の方法に応じて15～45時間とされており、講義の場合は、定期試験を除いて、1単位当たり最低でも15時間の確保が必要とされているが、15時間の授業時間に定期試験が含まれている大学も見られた。また、キャップ制（単位の過剰登録を防ぐため、1年間又は1学期間に履修登録できる単位の上限を設ける制度）については、1年間の履修上限単位数が多すぎて、各年次にわたって体系的に授業科目を履修するという趣旨に必ずしも沿っていない事例も見られた。このため、各大学においては、法令に基づいた単位の実質化を図るための取組が求められる。

#### (教員組織)

- 教員組織について、予定された専任教員が未就任や退職となったことにより、授業が未開講や開講時期の変更になるなど当初の理念や計画の実現性が懸念される大学

や、教員の退職により大学設置基準に定めた必要専任教員数を下回る大学など設置計画の着実な履行に対する認識が不足していると思われるような大学も見られた。このため、各大学においては、教育研究上の目的を達成するための教員組織の整備に対する意識の向上と適切な教員組織の整備のために必要な手続に関する学内関係者の理解の促進を図るための取組が求められる。

#### (ファカルティ・ディベロップメント (FD))

- FDについては、様々な取組が行われているところであるが、特に、その一環として実施されている学生による授業評価については、評価結果が学生にフィードバックされておらず、授業評価がどのように活用され、どのように改善されているのか学生が確認できないといった事例も見られた。このため、各大学においては、評価結果について、学生等に対する公表等を通じて教員の教育改善への継続的な取組に活かしていくことが求められる。

#### (施設・設備)

- 施設・設備については、専門誌や学術雑誌の種類及び冊数の不足等が見られた。各大学においては、図書館及び体育館、運動場等の体育施設の整備等、教育研究に必要な施設・設備の充実が求められる。

上記については、特に留意いただきたい事例を示したものであるが、各大学においては、設置認可申請に係る書類、あるいは届出に係る書類は、「各大学が社会に対して着実に実現していく構想を表したもの」（「中長期的な大学教育の在り方に関する第二次報告」平成21年8月中央教育審議会大学分科会）であること、大学設置・学校法人審議会会長が大学の設置・運営に関わる全ての方に対して、改めて大学を設置する責任の重みを十分に自覚いただくよう要請するコメントを出している（平成19年11月27日「11月答申の提出に当たって」）ことを十分認識するとともに、適切な対応をとるように改めて強く求めたい。

また、学生や社会からの多様な要請に応えるために、柔軟な組織改編等を行うことも重要ではあるが、一方で、中央教育審議会からは、「頻繁な改組や設置計画の変更によって、真に学生が体系的に学び、学習成果を達成できるのかどうか危ぶまれる事例が生じてきている」（「学士課程教育の構築に向けて」平成20年12月24日中央教育審議会）との指摘がなされている。各大学においては、組織改編等を検討する際、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）を明確にし、学士課程教育として相応しく、ある程度、継続的に維持される組織改編等を期待したい。

## 4. 設置計画履行状況等報告書の情報公開等

設置後の履行状況を記載した設置計画履行状況等報告書を、大学として積極的に公開することは大変意義がある。また、中央教育審議会大学分科会質保証システム部会において、設置認可と認証評価との連続性を確保することが課題として挙げられており、大学設置・学校法人審議会大学設置分科会においては、本課題を解決するために認証評価機関からの求めがあった場合には、各大学から設置計画履行状況等報告書を直接提供するようにすることが適切であるとされたところであり、各大学におかれては、認証評価機関から提出が求められた際には、積極的に提供いただくよう、お願いしたい。なお、全ての大学が受けることを義務付けられている「認証評価」（※3参照）とアフターケアの有機的な連携が図られるよう、引き続き、各認証評価機関に対して、本調査の結果を

参考資料として送付することとしたい。

## 5. 平成25年度の実施方針

本年度と概ね同様に、設置審査やアフターケアの結果として留意事項が付された大学、完成年度を迎える大学の中から、今後の調査委員会等における審議を踏まえ、実地又は面接調査が必要と認められる大学については、年度間を通じて計画的に調査を実施することとしたい。

書面調査についても引き続き該当大学全てに対して実施することとしたい。その結果を踏まえ、大幅な計画変更など顕著な問題がある場合には、必要に応じて実地調査や面接調査を行うこととしたい。

なお、従前どおり、今回のアフターケアで留意事項が付された完成年度を経過した大学に対しては、当該留意事項への対応状況について報告を求め、更に必要な場合には、実地調査又は面接調査を実施するなど、改善を促していく方針としたい。

〈参考資料〉

※1 大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（抄）

（平成19年3月30日 文部科学省令第10号）

第14条 文部科学大臣は、設置計画及び留意事項の履行の状況を確認するため必要があると認めるときは、認可を受けた者又は届出を行った者に対し、その設置計画及び留意事項の履行の状況について報告を求め、又は調査を行うことができる。

※2

[大 学]

文部科学省告示第44号（抄）

大学設置基準（昭和49年文部省令第28号）第53条の規定に基づき、新たに大学等を設置し、又は薬学を履修する課程の修業年限を変更する場合の教員組織、校舎等の施設及び設備の段階的な整備について次のように定める。

平成15年3月31日

（1・2略）

3 文部科学大臣は、大学等の設置を認可した後、当該認可時における留意事項、授業科目の開設状況、教員組織の整備状況その他の年次計画の履行状況について報告を求め、必要に応じ、書類、面接又は実地により調査することができるものとする。

[短期大学]

文部科学省告示第52号（平成15年3月31日）

[大学院]

文部科学省告示第50号（平成15年3月31日）

※3 学校教育法（抄）

第109条

1 （略）

2 大学は、前項の措置に加え、当該大学の教育研究等の総合的な状況について政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。ただし、認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

3 専門職大学院を置く大学にあつては、前項に規定するもののほか、当該専門職大学院の設置の目的に照らし、当該専門職大学院の教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況について、政令で定める期間ごとに、認証評価を受けるものとする。ただし、当該専門職大学院の課程に係る分野について認証評価を行う認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）  
設置計画履行状況等調査委員会 委員名簿

◎・・・主査 ○・・・主査代理

【委員】

あさだ なおき  
浅田 尚紀 広島市立大学長・理事長

◎ すずき のりひこ  
鈴木 典比古 財団法人大学基準協会専務理事

【特別委員】

○ はまな あつし  
濱名 篤 関西国際大学長・理事長

むらもと じゅんこ  
村本 淳子 三重県立看護大学長・理事長

【専門委員】

あかざわ こうへい  
赤澤 宏平 新潟大学医歯学総合病院医療情報部 教授

いそぎき みきとし  
磯崎 三喜年 国際基督教大学教養学部 教授

えんどう ひでき  
遠藤 英樹 奈良県立大学地域創造学部 教授

おいえ ゆうじ  
尾家 祐二 九州工業大学副学長，情報工学研究院 教授

おおた しげる  
太田 茂 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授

おおたけ みどり  
大竹 美登利 東京学芸大学総合教育科学系 教授

おがさわら こういち  
小笠原 浩一 東北福祉大学総合福祉学部 教授

かでかる えいこ  
嘉手苺 英子 沖縄県立看護大学看護学部長，教授

きたがみ まさゆき  
北神 正行 国土舘大学体育学部 教授

しみず はじめ  
清水 一 前広島大学大学院保健学研究科 教授

すぎたに ゆみこ  
杉谷 祐美子 青山学院大学教育人間科学部 准教授

すずき よしたか  
鈴木 良隆 独立行政法人中小企業基盤整備機構 特別参与，一橋大学名誉教授

たかはし まり  
高橋 真理 北里大学看護学部，大学院看護学研究科 教授

たかみざわ えみこ  
高見沢 恵美子 大阪府立大学看護学部 教授

たんの かほる  
丹野 かほる 新潟大学医学部 教授

ながさわ ひろし  
長澤 弘 神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科 教授

なかむら たかし  
中村 享史 山梨大学教育人間科学部長・教育学研究科長

ふるせ なつこ  
古瀬 奈津子 お茶の水大学大学院人間文化創成科学研究科 教授

ほりい ゆうすけ  
堀井 祐介 金沢大学大学教育開発・支援センター 教授

まつだ たみこ  
松田 たみ子 茨城県立医療大学保健医療学部看護学科 教授

みしま よしなお  
三島 良直 東京工業大学長

みま のゆり  
美馬 のゆり 公立はこだて未来大学システム情報科学部 教授

みやの さとる  
宮野 悟 東京大学医科学研究所 教授

みやもと えつこ  
宮本 悦子 北陸大学薬学部 教授

やまだ すみお  
山田 純生 名古屋大学大学院医学系研究科 教授

やまだ ひろし  
山田 洋 一橋大学大学院法学研究科 教授

やまもと しょうじ  
山本 昭二 関西学院大学副学長，関西学院大学大学院経営戦略研究科 教授

ゆかわ かつみ  
湯川 嘉津美 上智大学総合人間科学部 教授

## 平成24年度 設置計画履行状況等調査 留意事項

## 1. 大学・短期大学【35件(33校)】

国 公 私 株	大学名	学部名等	設置区分	認可 又は 届出 の別	開設 年度	留意事項
公立	千葉県立保健医療大学	保健科学部 看護学科 栄養学科 歯科衛生学科 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	大学設置	認可	21	○教員の授業負担に著しい偏りがあることから、研究時間の確保や教育研究の活性化を図られるように、教員負担の平準化を図り、教員組織の将来構想の具体化を進めること。  ○医療系大学にふさわしい施設・設備の整備計画及び使用計画を策定し、着実に実行すること。
私立	稚内北星学園大学	情報メディア学部 地域創造学科	学部学科設置	届出	21	○学生確保に向けた対応として、地方公務員試験に重点を置いた学習支援を構築しているが、設置計画で示している本学科の目的や養成する人材像を十分に踏まえたものとなるようにすること。また、学部単位で学生募集を行うことについて、両学科の目的や人材養成像が異なることを踏まえ、それらを適切に受験生等に周知すること。なお、大学設置基準第18条の趣旨に鑑みて、学科単位で適切に学生管理を行うこと。  ○東京サテライトについて、ホームページ等において学生募集停止であることを適切に周知すること。
私立	つくば国際大学	産業社会学部 メディア社会学科	学部学科設置	届出	22	○当初の計画を大きく変更し、入学定員の削減を行うことから、設置当初の見込みや定員未充足の原因、対策について更に分析を行い、適切な定員管理及び運営に努めること。
私立	群馬医療福祉大学	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻	学部設置	届出	24	○4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。特に、理学療法や作業療法の学問体系をきちんと教授できるような教育課程を整備し、各授業の到達目標を明確に設定すること。
株立	LEC東京リーガルマインド大学	総合キャリア学部 総合キャリア学科	大学設置	認可	16	○教育課程、教員組織、施設設備等の改善・充実に向けた努力を継続すること。また、平成22年度から学部の学生募集を停止しているが、「LEC大学を卒業したい」との学生の声に応え、最後の学生が卒業するまで、教育課程、教員組織、施設設備等の維持向上に努めること。  ○学校設置会社の経営基盤の更なる充実向上を図り、大学の継続性・安定性の確保に努めること。
	LEC東京リーガルマインド大学大学院	高度専門職研究科 会計専門職専攻(P)				

国 公 私 株	大学名	学部名等	設置区分	認可 又は 届出 の別	開設 年度	留意事項
私立	東京福祉大学	教育学部 教育学科	学部設置	届出	19	<p>○併修制度を利用する学生について、専門学校の入試試験と短期大学の入学試験は別々に実施しているとの説明であるが、学生は専門学校の入学試験のみを受験し、短期大学の試験を受験した認識がないことや、併修制度の対象となる学部・学科がわかりにくいことから、併修制度全体の概要や入学の流れがわかるような広報を行うことも含め、大学4年制学部・短大としての教育水準を維持するような運用を行うよう引き続き努力すること。</p> <p>○在留資格「留学」以外の在留資格で日本に滞在している外国人や、既に在留資格「留学」の資格を持ち、高等専門学校・大学・大学院・短期大学以外の校種に通っている外国人を対象に、平成24年度から日本文化を学ばせるとして日本語学習に関する授業科目や日本語教育に関する授業科目を多数開設しているが、教育学部教育学科にこれらの授業科目を開設し、学士（教育学）を授与することについて、学部学科の設置の趣旨に合致したものであることについて対外的に説明できるように整理すること。</p> <p>○シラバスについて、具体的な授業計画が記載されていない授業科目が見受けられることから、授業の質を確保する観点や学生が見て分かりやすいものとする観点から改善すること。</p> <p>○スクーリングの授業科目について、シラバスに記載されている担当教員以外の教員が授業を実施している場合があることから、シラバスの記載、授業運営について適切なものとする。</p> <p>○卒業証書等諸経費・同窓会費について、任意の徴収であることや途中で退学した学生、退会を希望する学生に対する取扱い等を定めることについて引き続き対応すること。</p>
		教育学部（通信教育課程） 教育学科	通信教育開設	届出	19	
	東京福祉大学 短期大学部	こども学科（3年制）	短期大学設置	認可	18	
		こども学科（3年制）（通信教育課程）	通信教育開設	届出	19	
私立	十文字学園女子大学	人間生活学部 児童教育学科	学部設置	届出	23	<p>○開設以降、入学定員を大幅に超える学生を入学させており、教育環境の悪化が懸念されることから、在籍する学生への対策も含め、入学者選抜の方針や適切な定員管理について検証し、教育環境の充実に努めること。</p>
私立	東都医療大学	ヒューマンケア学部 看護学科	大学設置	認可	21	<p>○教員組織について、年齢構成が高齢に偏り、当初の計画より専任教員が8名、助手が15名減員している。そのため、当初の理念や計画を実現できる体制ではなく、教育研究の継続性に疑義があることから、教育効果や研究時間の確保等を勘案し、主要科目に専任教員を配置する等により適切な教員組織を構築すること。また、実習担当教員について、専任の助手を充実させて、質を確保した実習指導体制を確立すること。</p>
私立	日本医療科学大学	保健医療学部 看護学科 臨床工学科	学部学科設置	届出	24	<p>○看護学科、臨床工学科の定員超過率が1.3倍を超えており、当初計画した教育課程や教員組織、施設・設備等に支障が生じる恐れがあるため、適正な定員管理を行い、定員超過率を是正すること。</p> <p>○年間履修登録単位数の上限（CAP制）がないことから、大学設置基準第27条の2の趣旨に鑑みて、その妥当性を再検証し、適切に見直すこと。</p>

国 公 私 株	大学名	学部名等	設置区分	認可 又は 届出 の別	開設 年度	留意事項
私立	植草学園大学	発達教育学部 発達支援教育学科 保健医療学部 理学療法学科	大学設置	認可	19	○実習施設が認可申請時における施設と大きく異なることは設置計画段階の不備であり、これまでは総合実習に出る学生が少なかったために実習施設に不足が生じていなかったが、十分な実習施設を確保しているとは認められないことから、学生に不安を生じさせることのないよう、より一層計画的に実習施設を充実させること。
私立	帝京科学大学	医療科学部 看護学科	学部学科設置	届出	24	○講義を複数担当している期間に実習を担当する教員が複数見受けられるため、実習指導の質や教員の研究時間が確保されていない懸念があることから、教育研究の質が担保される体制を構築すること。
株立	ビジネス・ブ レークスルー大 学	経営学部 グローバル経営学科 ITソリューション学科	学部設置	認可	22	○平成23年度に付した留意事項への対応について、大半が「検討中」や「予定」と報告されていることから、留意事項に対する改善方を着実に進捗させること。  ○今後の定員充足の在り方について検討すること。（経営学部 ITソリューション学科）  ＜参考＞平成23年度の留意事項 ○大学設置基準第38条に基づき、オンラインのみの大学であること及びグローバルリーダーの育成を教育目標としていることを踏まえ、必要な電子ジャーナル等を整備すること。  ○教育課程の編成については、事務局が中心となっているとのことであるが、ディプロマポリシーを踏まえた体系的な教育課程を編成するためには、教員の学問的視点からの編成が必要不可欠であることから、教員を中心とした検討組織を設置するなど、教育課程の編成の在り方を検討すること。  ○学則上、助教は講義ができないとしているが、実際は、助教も講義を担当していることから、学則に基づいた適切な運営となるよう改めること。  ○講義内容については、その都度、見直しや更新をしているとのことであるが、一部の授業科目では、データ等の更新がなされていないものもあることから、最新のデータ等を踏まえた授業内容にするよう検討すること。  ○大学設置基準第42条の2に基づき、就職支援については、高等学校を卒業してストレートで入学する学生がいることや、転職を希望している学生がいることを踏まえ、その充実に努めること。  ○経営学部ITソリューション学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国 公 私 株	大学名	学部名等	設置区分	認可 又は 届出 の別	開設 年度	留意事項
私立	横浜薬科大学	薬学部 健康薬学科 漢方薬学科 臨床薬学科	大学設置	認可	18	<p>○退学者及び留年者の人数が多いことから、その原因について分析を行い把握するとともに、学生へ必要なケアが十分になされるよう、具体的な対策を講じること。</p> <p>○薬学部臨床薬学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>
私立	金沢学院大学	文学部 歴史文化学科	学部学科設置	届出	23	<p>○大学設置基準第21条に記載されている1単位当たりの授業時間数の考え方を踏まえ、単位当たりに必要な時間数を確保するよう、定期試験の実施体制を早急に整備すること。</p>
私立	北陸学院大学	人間総合学部 社会学科	学部学科設置	届出	24	<p>○学科の理念、目的に沿い、社会学を基礎から体系的に学ぶことが出来る教育課程となるよう、不断に検証すること。また、教育課程の中にコースがあるが、養成人材像に合わせた体系的な学習を学ぶことができるような教育課程を有するコースとなるよう、検討すること。</p>
私立	中部大学	生命健康科学部 スポーツ保健医療学科	学部学科設置	届出	23	<p>○平成23、24年度入学者選抜の指定校推薦入試では入学定員の過半数を超える合格者を出しており、学科全体として大幅な定員超過となるなど、不適切な定員管理体制であることから、教員の負担や学生の教育環境に配慮し、定員管理の徹底を図ること。</p>
私立	びわこ学院大学	教育福祉学部 子ども学科	大学設置	認可	21	<p>○短期大学と4年制大学で合同の授業を行っていることに関して、それぞれ異なる目的や到達目標で教育課程が構成されていることから、慎重に取り扱うこと。</p> <p>○教育課程について、配当年次の設定はカリキュラムポリシーの根幹に関わるものであることを踏まえ、配当年次の変更は慎重に行うこと。また、やむを得ず変更する場合には、学生への説明を十分に行うこと。</p> <p>○教員の欠員が出ないように中期的な教員配置について検討するとともに、教員の都合による未開講の科目がないようにすること。</p>
私立	京都学園大学	人間文化学部 国際ヒューマン・コミュニケーション学科	学部学科設置	届出	21	<p>○4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。特に大学等の理念や目的、当初計画のカリキュラムポリシーそのものにも影響を及ぼす懸念があるほど、完成年度前の科目廃止が多く、設置計画の不備であると思われることから、中長期的な見通しや学部学科の理念に基づいた教育課程を編成し、学習環境を整備すること。</p> <p>○高大連携やオープンキャンパス等の広報活動の強化を通じて学生の確保に努めるとともに、必要に応じて入学定員の見直しについて検討するなど、大学のマネジメントを分析するよう努めること。</p> <p>○大学設置基準第21条に規定されている1単位当たりの授業時間数の考え方を遵守し、単位当たりに必要な時間数を確保すること。</p>

国 公 私 株	大学名	学部名等	設置区分	認可 又は 届出 の別	開設 年度	留意事項
私立	京都造形芸術大学	芸術学部 文芸表現学科	学部学科設置	届出	23	○入学定員を大幅に超える学生を入学させており、教育環境の悪化が懸念されることから、入学者選抜の方針、適切な定員管理について再検討し、教育環境の充実に努めること。
私立	佛教大学	保健医療技術学部 看護学科	学部学科設置	届出	24	○2つのキャンパスにおいて教育を行っているが、必修科目と免許取得に必要な科目を同一曜日の連続する時間帯に開講していることから、学生がキャンパス間を移動をする上で支障がない教育課程の編成に努めること。
私立	大阪保健医療大学	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	大学設置	認可	21	○「生理学実習」担当の専任教員を変更する際に、事前に教員審査にかけずに教員を着任させていることから、完成年度を迎えるまでの専任教員の変更については、教員審査が必要であることを再認識し、審査を受けていない教員が担当することのないようにすること。また、速やかに必要な手続を講ずること。
私立	滋慶医療科学大学院大学	医療管理学研究科 医療安全管理学専攻（M）	大学院大学設置	認可	23	○学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。  ○教育研究活動の中心となる研究指導やその基となる図書について、大学院の目的や教育内容を勘案して充実すること。また、講義科目についても、担当教員が専任教員であるか否かに関わらず、大学院の教育課程を構成する1つの授業科目としてふさわしい内容となるよう不断に検証すること。  ○教員組織編成の将来構想については、大学自らが補正申請書で示した計画を基本とし、準備も含め着実に実施すること。
私立	相愛大学	人文学部 仏教文化学科	学部学科設置	届出	23	○仏教文化学科の専任教員の配置について、設置基準に照らし教授1名の補充が必要であることから、速やかに対応すること。
私立	近畿医療福祉大学	社会福祉学部 健康スポーツコミュニケーション学科	学部学科設置	届出	23	○当初計画を変更した入学定員が充足されるよう学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること。  ○学位の分野が社会学・社会福祉学関係であるにも関わらず、社会福祉学関係の授業を担当する教授が少ないため、教員採用計画を確実に実行すること。  ○学設置基準第21条及び第27条に基づき、1単位当たりの授業時間を確保するなど、単位の実質化に向けて取り組むこと。

国 公 私 株	大学名	学部名等	設置区分	認可 又は 届出 の別	開設 年度	留意事項
私立	宝塚大学	造形芸術学部 メディア・デザイン学科	学部学科設置	届出	22	<p>○4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。特に教育課程について、頻繁に変更しており、そのことを学生に適切に説明していないため、要請する人材像を明確に掲げ、それを具現化する教育課程を整備すること。</p>
私立	環太平洋大学	体育学部 健康科学科	学部学科設置	届出	24	<p>○履修登録単位数の上限を設定しているが、学科全体として上限数を超える履修上のコースを設定するなど、大学自らがCAP制を設定している趣旨に反していることから、単位制の在り方を適切に改め、学生に対して履修指導を行うこと。</p> <p>○実習機器について、特に運動負荷の生体反応分析機器や心電図等の機材の整備状況が不十分であると思われることから、教育内容や学生定員に見合う機材等の整備を行うこと。</p> <p>○編入学定員を設定していないにも関わらず入学定員を超える編入学生を受け入れている学科があることから、編入学試験の在り方を見直すこと。</p>
私立	広島都市学園大学	健康科学部 看護学科	大学設置	認可	21	<p>○入学定員を大幅に超えている学年では教育課程や施設・設備の面で支障を来していることから、学生が勉学に集中できる教育環境を整備するとともに、適切な定員管理を行うこと。</p> <p>○大学設置基準第21条に規定されている1単位当たりの時間数の考え方を遵守し、授業ごとで学修時間数にばらつきが生じることがないように、授業科目の単位数を変更する場合は、大学全体として自学自習の時間も含めた必要な単位当たりの時間数を確実に確保し、学生にも周知すること。</p> <p>○教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など、教員組織編制の将来構想を着実に実行すること。</p> <p>○教育内容や方法について、大学が示す事前学習教材と授業内容に齟齬が生じていたり、教員の授業内容に差異があるなど、教育課程全体として統一が取れていないことから、大学として教育内容や方法について、教育課程全体を点検するとともに、組織的なFD活動を充実させること。また、教員組織と事務局組織との連携を密にし、学生に混乱が生じることがないようにすること。</p> <p>○FD活動について、授業アンケートの内容が学生にフィードバックされていない、自由記述欄がある授業とない授業があるなど、全体的にばらつきがあることから、組織的にFD活動を実施すること。</p>

国 公 私 株	大学名	学部名等	設置区分	認可 又は 届出 の別	開設 年度	留意事項
株立	サイバー大学	I T総合学部 I T総合学科	大学設置	認可	19	<p>○入学者選抜において、学力試験や面接を課しておらず、基礎学力が欠落している学生に対しては補習授業で対応しているが、学士課程水準の教育を履修できる学力の担保が不十分である。また、平成23年度に一定期間履修登録がない多くの学生を除籍にしていることから、学校教育法第83条や第90条の趣旨に鑑みて、受け入れた学生に対する支援体制や入学者選抜方法等を適切に見直すこと。</p> <p>○大学の継続性・安定性確保の観点から、定員充足に努めるとともに、学校設置会社の経営基盤の更なる充実強化を図ること。</p>
私立	保健医療経営大学	保健医療学部 保健医療学科	大学設置	認可	20	<p>○設置認可の際には体育館を整備することを要件として認可されていることから、早急に整備すること。</p> <p>○学生確保について、広報の強化、就職実績づくり、関係病院との関係強化等に引き続き努め、一層努力すること。</p> <p>○入学定員変更の手続を経ないまま学生募集を行っていることから、早急に必要な手続を行うとともに今後は適切に手続を行うこと。</p>
私立	日本ウェルネススポーツ大学	スポーツプロモーション学部 スポーツプロモーション学科 (通信教育課程)	大学設置	認可	24	<p>○当初の設置計画を踏まえ、教育研究環境の整備に努めること。特に図書館について、新書や専門書の充実及び事務職員の適切な配置等を計画的に進めること。また、通信教育課程であることに鑑みてネットワーク整備を推進すること。</p> <p>○広報に関して、通信教育課程であることが明記されていないものがあることから、受験生に正確な情報を提供するように広報活動を見直すこと。</p>

国 公 私 株	大学名	学部名等	設置区分	認可 又は 届出 の別	開設 年度	留意事項
私立	岐阜保健短期大学	看護学科（3年制）	短期大学設置	認可	19	<p>○実習については、大学内の教員同士の連携や実習先との連携を図るとともに、非常勤助手の役割や採用を見直し、教育の質が担保できる体制の構築を早急に整備すること。</p> <p>○教員組織について、分野構成や役割分担等に依然として偏りがあり、更に教員の過重負担により、教員の教育・研究に支障を来しているため、教育の質向上や研究時間の確保、学生相談体制の確立等を勘案し、適切な教員組織を構築すること。また、教員の研究費については、適切な執行に努めること。</p> <p>○事務組織について、看護学科及びリハビリテーション学科の事務を11名の事務職員で担っており、業務量に比して事務職員が著しく不足している。また、事務職員不足により、一部の事務業務を教員が担うことで教員が過重負担となり、教育・研究や学生相談に支障をきたしているため、貴学の規模や今後の運営等を踏まえ、事務組織を適切に見直すこと。更に、大学としてシラバスを統一し、誤記のないシラバスを4月に学生に配布すること。更に、学籍管理等の不備について、早急に改めること。</p> <p>○学生相談体制について、ハード面の一定の整備は認められるものの、ソフト面の整備も含めると整備は不十分であり、学生の立場を考慮した学生相談に供する施設・設備の確保や学生支援の充実を図り、情報管理の適正化も含めた適切な学生支援体制を構築すること。</p> <p>○平成24年度の推薦入試において、入学定員を超える合格者を出しているため、適切に定員管理を行うとともに、入試及び学生募集の在り方を抜本的に見直すこと。また、教室の収容定員に見合ったクラス編成や時間割設定を行い、学生の要望を踏まえて、教育環境の充実を努めること。</p> <p>○図書館や運動施設については、学生のニーズを十分考慮の上、施設整備計画を立案し、着実に実行すること。</p>

## 2. 大学院【13件（13校）】

国 公 私 株	大学院名	研究科名等	設置区分	認可又 は届出 の別	開設 年度	留意事項
国立	静岡大学大学院	教育学研究科 共同教科開発学専攻 (D)	専攻設置 又は課程 変更	意見伺 い(認 可)	24	○「教科開発学」については、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、また、教員養成系大学・学部を養成する教育を実施するという設置目的に照らし、国内外の動向を十分に踏まえ充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。
国立	愛知教育大学大学院	教育学研究科 共同教科開発学専攻 (D)	専攻設置 又は課程 変更	意見伺 い(認 可)	24	○「教科開発学」については、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、また、教員養成系大学・学部を養成する教育を実施するという設置目的に照らし、国内外の動向を十分に踏まえ充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。
私立	北海商科大学大学院	商学研究科 ビジネス専攻 (M)	大学院の 設置	認可	23	○留学生を含む様々な素養の学生に対応した学生支援方策の構築及び継続的に学生を確保するための方策・見通しについて、大学全体で情報やデータを集約・共有し、必要な取組みを着実に実行すること。
私立	日本赤十字秋田看護大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	大学院の 設置	認可	23	○教員組織の将来構想については、補正申請書で示した計画のとおりを実施することを基本とし、変更がある場合は更新版を提出した上で、適切に実施すること。  ○アフターケア期間中の専任教員の変更については教員審査が必要であることを再認識し、審査を受けていない教員が担当することのないようにすること。また、教員審査で不可となった教員の科目は速やかに後任補充をすること。  ○教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など、教員組織編製の将来構想を着実に実行すること。
私立	川村学園女子大学大学院	人文科学研究科 教育学専攻 (M)	専攻設置 又は課程 変更	届出	23	○人文科学研究科教育学専攻修士課程について、大学の設定した入学定員に比べて、入学者が著しく少ないことから、当該状況を全学的に共有・議論し、当該専攻の在り方について再検討すること。
私立	大阪女学院大学大学院	21世紀国際共生研究科 平和・人権システム専攻 (D)	大学院の 設置	認可	21	○開設以降入学者が非常に少ない状況を全学的に共有・議論し、引き続きマーケティング調査等を通じて学生確保に努力するとともに、当初の設置構想を抜本的に見直し、当該専攻の在り方について再検討すること。
私立	山口学芸大学大学院	教育学研究科 子ども教育専攻 (M)	大学院の 設置	認可	23	○認可時の留意事項の趣旨を踏まえ、以下の点について適切に対応すること。  (1) 「芸術を基盤とする教育の理論と実践の体系化」を強化するとして、教育学及び音楽教育担当教員がオムニバス形式で担当する「教育と芸術」(仮題)を新たな科目として開設する計画や、「芸術を基盤とする教育の理論と実践の体系化」の理念を具現化するために策定している中長期計画を着実に実施すること。  (2) 策定している教員組織編成の将来構想について、着実に実施すること。

国 公 私 株	大学院名	研究科名等	設置区分	認可又 は届出 の別	開設 年度	留意事項
私立	日本経済大学大学院	経営学研究科 経営学専攻 (M)	大学院の 設置	認可	24	<p>○定員管理について、入学定員よりかなり多くの学生が入学しているため、定員超過率の是正に努めること。</p> <p>○教員の補充を必要とされている授業科目については、科目開設時までには教員を配置すること。うち専任教員の配置を必要とされている授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p> <p>○研究指導については、研究指導教員が担当するとともに研究指導補助教員は研究指導の補助を行い、そのことが明確となるようにシラバス等を修正すること。</p>
私立	西南学院大学大学院	経済学研究科 経済学専攻 (D)	専攻設置 又は課程 変更	届出	21	<p>○経済学研究科経済学専攻博士後期課程について、大学の設定した入学定員に比べて、入学者が著しく少ないことから、当該状況を全学的に共有・議論し、当初の設置構想を抜本的に見直すとともに、当該専攻の在り方について再検討すること。</p>
私立	帝京大学大学院	外国語研究科 超域文化専攻 (M) 超域文化専攻 (D)	研究科設 置	届出	23	<p>○外国語研究科超域文化専攻について、大学の設定した入学定員に比べて、入学者が著しく少ないことから、当該状況を全学的に共有・議論し、当初の設置構想を抜本的に見直すとともに、当該専攻の在り方について再検討すること。</p>
私立	神奈川大学大学院	外国語学研究科 欧米言語文化専攻 (D)	専攻設置 又は課程 変更	届出	23	<p>○外国語学研究科欧米言語文化専攻博士後期課程、大学の設定した入学定員に比べて、入学者が著しく少ないことから、当該状況を全学的に共有・議論し、当初の設置構想を抜本的に見直すとともに、当該専攻の在り方について再検討すること。</p>
私立	大阪工業大学大学院	工学研究科 空間デザイン学専攻 (D)	専攻設置 又は課程 変更	届出	22	<p>○工学研究科空間デザイン学専攻博士後期課程について、大学の設定した入学定員に比べて、入学者が著しく少ないことから、当該状況を全学的に共有・議論し、当初の設置構想を抜本的に見直すとともに、当該専攻の在り方について再検討すること。</p>
私立	九州産業大学大学院	工学研究科 産業技術デザイン専攻 (D)	専攻設置 又は課程 変更	届出	23	<p>○工学研究科産業技術デザイン専攻博士後期課程について、大学の設定した入学定員に比べて、入学者が著しく少ないことから、当該状況を全学的に共有・議論し、当初の設置構想を抜本的に見直すとともに、当該専攻の在り方について再検討すること。</p>

### 3. アフターケア対象学部等において定員充足率の留意事項が付された大学等【106件（87校）】

国公 私株	大学名等	認可又は 届出 の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設 年度	留意事項
私立	札幌大谷大学	認可	学部設置	社会学部 地域社会学科	24	○ 社会学部地域社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	札幌学院大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科 会計ファイナンス学科	21	○ 経営学部会計ファイナンス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	札幌国際大学	届出	学部学科設置	観光学部 観光経済学科	21	○ 観光学部観光経済学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	北海道工業大学	届出	学部学科設置	医療工学部 義肢装具学科	24	○ 医療工学部義肢装具学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	稚内北星学園大学【再掲】	届出	学部学科設置	情報メディア学部 地域創造学科	21	○ 情報メディア学部地域創造学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	八戸工業大学	届出	学部学科設置	工学部 土木建築工学科	21	○ 工学部土木建築工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	東北芸術大学	届出	学部学科設置	芸術学部 文芸学科	23	○ 芸術学部文芸学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	いわき明星大学	認可	学部設置	薬学部 薬学科（6年制）	19	○ 薬学部薬学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	筑波学院大学	届出	学部設置	経営情報学部 経営情報学科	22	○ 経営情報学部経営情報学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	つくば国際大学【再掲】	認可	学部学科設置	医療保健学部 保健栄養学科	21	○ 医療保健学部保健栄養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	産業社会学部 メディア社会学科	22	○ 産業社会学部メディア社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	足利工業大学	届出	学部学科設置	工学部 創生工学科	23	○ 工学部創生工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	宇都宮共和大学	認可	学部設置	子ども生活学部 子ども生活学科	23	○ 子ども生活学部子ども生活学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	作新学院大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科	22	○ 経営学部経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	高崎健康福祉大学	認可	学部設置	人間発達学部 子ども教育学科	24	○ 人間発達学部子ども教育学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	共栄大学	認可	学部設置	教育学部 教育学科	23	○ 教育学部教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	十文字学園女子大学【再掲】	届出	学部設置	人間生活学部 幼児教育学科 児童教育学科 人間発達心理学科 食物栄養学科 人間福祉学科 生活情報学科 メディアコミュニケーション学科	23	○ 人間生活学部児童教育学科、人間発達心理学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	東京国際大学	届出	学部学科設置	人間社会学部 人間スポーツ学科	23	○ 人間社会学部人間スポーツ学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	日本医療科学大学【再掲】	届出	学部学科設置	保健医療学部 看護学科 臨床工学科	24	○ 保健医療学部看護学科、臨床工学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	日本薬科大学	届出	学部学科設置	薬学部 薬学科（6年制） 医療ビジネス薬科学科（4年制）	23	○ 薬学部医療ビジネス薬科学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国公 私株	大 学 名 等	認可又 は届出 の別	設置区分	学部名・研究科名 等	開設 年度	留意事項
私立	川村学園女子大学【再掲】	届出	学部学科設置	文学部 日本文化学科	23	○ 文学部日本文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	生活創造学部 生活文化学科	23	○ 生活創造学部生活文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	生活創造学部 観光文化学科	23	○ 生活創造学部観光文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	淑徳大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科 観光経営学科	24	○ 経営学部経営学科、観光経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	城西国際大学	届出	学部学科設置	環境社会学部 環境社会学科	22	○ 環境社会学部環境社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	千葉科学大学	届出	学部学科設置	危機管理学部 航空・輸送安全学科	22	○ 危機管理学部航空・輸送安全学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	薬学部 生命薬科学科（4年制）	22	○ 薬学部生命薬科学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	東京成徳大学	届出	学部学科設置	人文学部 観光文化学科	22	○ 人文学部観光文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	日本橋学館大学	届出	学部設置	リベラルアーツ学部 総合経営学科 人間心理学科 総合文化学科	21	○ リベラルアーツ学部総合経営学科、総合文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	帝京科学大学【再掲】	届出	学部学科設置	医療科学部 柔道整復学科	21	○ 医療科学部柔道整復学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	帝京平成大学	届出	学部学科設置	現代ライフ学部 レジャービジネス学科	21	○ 現代ライフ学部レジャービジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	東海大学	届出	学部設置	生物学部 生物学科 海洋生物科学科	24	○ 生物学部生物学科、海洋生物科学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	東京有明医療大学	認可	大学設置	保健医療学部 鍼灸学科 柔道整復学科 看護学部 看護学科	21	○ 保健医療学部鍼灸学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	東京家政学院大学	届出	学部設置	現代生活学部 現代家政学科 健康栄養学科 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科	22	○ 現代生活学部人間福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	東京都市大学	届出	学部学科設置	知識工学部 自然科学科	21	○ 知識工学部自然科学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	東京未来大学	届出	学部設置	モチベーション行動科学部 モチベーション行動科学科	24	○ モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	文化学園大学	届出	学部学科設置	現代文化学部 応用健康心理学科	22	○ 現代文化学部応用健康心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	松蔭大学	認可	学部設置	観光文化学部 観光文化学科	21	○ 観光文化学部観光文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	経営文化学部 経営法学科	24	○ 経営文化学部経営法学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	コミュニケーション文化学部 生活心理学科	24	○ コミュニケーション文化学部生活心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	湘南工科大学	届出	学部学科設置	工学部 人間環境学科	22	○ 工学部人間環境学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	新潟産業大学	届出	学部学科設置	経済学部 文化経済学科	21	○ 経済学部文化経済学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国公 私株	大学名等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	金沢学院大学【再掲】	届出	学部学科設置	文学部 歴史文化学科	23	○ 文学部歴史文化学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	北陸学院大学	届出	学部学科設置	人間総合学部 社会学科	24	○ 人間総合学部社会学科、北陸学院大学短期大学部コミュニティ文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	福井工業大学	届出	学部学科設置	工学部 産業ビジネス学科	23	○ 工学部産業ビジネス学科の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部学科設置	工学部 建築生活環境学科	24	○ 工学部建築生活環境学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	静岡福祉大学	届出	学部学科設置	社会福祉学部 医療福祉学科	21	○ 社会福祉学部医療福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	聖隷クリストファー大学	届出	学部学科設置	社会福祉学部 臨床介護福祉学科	23	○ 社会福祉学部臨床介護福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	浜松大学	認可	学部設置	保健医療学部 理学療法学科 作業療法学科	21	○ 保健医療学部作業療法学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	健康プロデュース学部 健康鍼灸学科	22	○ 健康プロデュース学部健康鍼灸学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	富士常葉大学	届出	学部設置	社会環境学部 社会環境学科	22	○ 社会環境学部社会環境学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	浜松学院大学	届出	学部学科設置	現代コミュニケーション学部 地域共創学科	21	○ 現代コミュニケーション学部地域共創学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	愛知産業大学	届出	学部学科設置	経営学部 総合経営学科	21	○ 経営学部総合経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	愛知文教大学	届出	学部設置	人文学部 人文学科	22	○ 人文学部人文学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	桜花学園大学	届出	学部設置	学芸学部 英語学科	21	○ 学芸学部英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	中京大学	届出	学部設置	スポーツ科学部 スポーツ教育学科 競技スポーツ科学科 スポーツ健康科学科	23	○ スポーツ科学部スポーツ健康科学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	中部大学【再掲】	届出	学部学科設置	国際関係学部 中国語中国関係学科	21	○ 国際関係学部中国語中国関係学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	生命健康科学部 スポーツ保健医療学科	23	○ 生命健康科学部スポーツ保健医療学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	豊橋創造大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科	24	○ 経営学部経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	名古屋商科大学	届出	学部設置	コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科 現代教養学科	22	○ コミュニケーション学部現代教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	日本福祉大学	届出	学部設置	国際福祉開発学部 国際福祉開発学科	20	○ 国際福祉開発学部国際福祉開発学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	京都学園大学【再掲】	届出	学部学科設置	人間文化学部 国際ヒューマン・コミュニケーション学科	21	○ 人間文化学部国際ヒューマン・コミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	京都光華女子大学	届出	学部設置	人文学部 文学科 心理学科	22	○ 人文学部文学科、心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		認可	学部学科設置	健康科学部 看護学科	23	○ 健康科学部看護学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	京都精華大学	届出	学部学科設置	人文学部 総合人文学科	21	○ 人文学部総合人文学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国 公 私 株	大 学 名 等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名 等	開設年度	留意事項
私立	京都造形芸術大学【再掲】	届出	学部学科設置	芸術学部 文芸表現学科	23	○ 芸術学部文芸表現学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	藍野大学	届出	学部学科設置	芸術学部 文芸表現学科	22	○ 医療保健学部臨床工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	大阪芸術大学	届出	学部学科設置	芸術学部 初等芸術教育学科 初等芸術教育学科（通信教育課程）	22	○ 芸術学部初等芸術教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	大阪樟蔭女子大学	届出	学部設置	心理学部 臨床心理学科 発達教育心理学科 ビジネス心理学科	21	○ 心理学部ビジネス心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	学芸学部 国際英語学科	22	○ 学芸学部国際英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	大阪電気通信大学	認可	学部設置	金融経済学部 アセット・マネジメント学科	21	○ 金融経済学部アセット・マネジメント学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	大阪人間科学大学	届出	学部学科設置	人間科学部 医療福祉学科	24	○ 人間科学部医療福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	人間科学部 子ども福祉学科	24	○ 人間科学部子ども福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	人間科学部 医療心理学科	24	○ 人間科学部医療心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	相愛大学【再掲】	届出	学部学科設置	人文学部 仏教文化学科	23	○ 人文学部仏教文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	人文学部 文化交流学科	23	○ 人文学部文化交流学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	音楽学部 音楽マネジメント学科	23	○ 音楽学部音楽マネジメント学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	ブルー学院大学	届出	学部学科設置	国際文化学部 教養学科	24	○ 国際文化学部教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	関西国際大学	届出	学部設置	人間科学部 経営学科	23	○ 人間科学部経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	近畿医療福祉大学【再掲】	届出	学部学科設置	社会福祉学部 経営福祉ビジネス学科	21	○ 社会福祉学部経営福祉ビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	社会福祉学部 健康スポーツコミュニケーション学科	23	○ 社会福祉学部健康スポーツコミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	宝塚大学	届出	学部学科設置	造形芸術学部 メディア・デザイン学科	22	○ 造形芸術学部メディア・デザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	姫路獨協大学	認可	学部設置	薬学部 医療薬学科（6年制）	19	○ 薬学部医療薬学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	岡山商科大学	届出	学部学科設置	経営学部 経営学科	21	○ 経営学部経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	環太平洋大学【再掲】	届出	学部学科設置	次世代教育学部 国際教育学科	24	○ 次世代教育学部国際教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国公 私株	大 学 名 等	認可又は 届出 の別	設置区分	学部名・研究科名 等	開設 年度	留意事項
私立	吉備国際大学	届出	学部学科設置	文化財学部 アニメーション文化学科	22	○ 文化財学部アニメーション文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	心理学部 子ども発達教育学科	23	○ 心理学部子ども発達教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	保健医療福祉学部 社会福祉学科	23	○ 保健医療福祉学部社会福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	倉敷芸術科学大学	届出	学部学科設置	生命科学部 健康医療学科	23	○ 生命科学部健康医療学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	広島文化学園大学	認可	学部設置	学芸学部 子ども学科 音楽学科	22	○ 学芸学部音楽学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	広島文教女子大学	届出	学部学科設置	人間科学部 グローバルコミュニケーション学科	22	○ 人間科学部グローバルコミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	安田女子大学	認可	学部設置	薬学部 薬学科	19	○ 薬学部薬学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	東亜大学	届出	学部学科設置	人間科学部 スポーツ健康学科	24	○ 人間科学部スポーツ健康学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	梅光学院大学	届出	学部学科設置	国際言語文化学部 英語英文学科	21	○ 国際言語文化学部英語英文学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	西南学院大学	届出	学部学科設置	人間科学部 心理学科	24	○ 人間科学部心理学科の入学定員超過の是正に努めること。
私立	西日本工業大学	届出	学部学科設置	工学部 デジタルエンジニアリング学科	21	○ 工学部デジタルエンジニアリング学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	日本経済大学	届出	学部学科設置	経済学部 健康スポーツ経営学科	24	○ 経済学部健康スポーツ経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	保健医療経営大学【再掲】	認可	大学設置	保健医療経営学部 保健医療経営学科	20	○ 保健医療経営学部保健医療経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	活水女子大学	届出	学部学科設置	音楽学部 音楽学科	22	○ 音楽学部音楽学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	長崎ウエスレヤン大学	届出	学部学科設置	現代社会学部 経済政策学科	22	○ 現代社会学部経済政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	長崎総合科学大学	届出	学部設置	環境・建築学部 人間環境学科 建築学科	21	○ 環境・建築学部人間環境学科、建築学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	崇城大学	届出	学部学科設置	情報学部 情報学科	21	○ 情報学部情報学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	別府大学	認可	学部設置	国際経営学部 国際経営学科	21	○ 国際経営学部国際経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	文学部 国際言語・文化学科	21	○ 文学部国際言語・文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	横浜創英大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科 こども教育学部 幼児教育学科	24	○ こども教育学部幼児教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	京都美術工芸大学	認可	大学設置	工芸学部 伝統工芸学科	24	○ 工芸学部伝統工芸学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

※ 留意事項は、今年度の調査時の大学状況に基づき付したものである。

#### 4. 既設学部等において定員充足率の留意事項が付された大学等【158件（179校）】

国公 私株	大学名等	認可又 は届出 の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設 年度	留意事項
公立	岐阜薬科大学大学院	届出	専攻設置又 は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 既設学科（薬学部薬科学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	専攻設置又 は課程変更	薬学研究科 薬科学専攻（D）（3年制）	24	
私立	札幌学院大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科 会計ファイナンス学科	21	○ 既設学科（社会情報学部社会情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	札幌国際大学	認可	学部学科設置	スポーツ人間学部 スポーツ指導学科	21	○ 既設学科（札幌国際大学短期大学部総合生活学科、英語コミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科	21	
		届出	学部学科設置	観光学部 観光ビジネス学科	21	
私立	北翔大学	届出	学部設置	生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科	21	○ 既設学科（人間福祉学部地域福祉学科、医療福祉学科、福祉心理学科、生涯学習システム学部芸術メディア学科、北翔大学短期大学部ライフデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	北海道工業大学大学院	届出	専攻設置又 は課程変更	工学研究科 電気電子工学専攻（M） 情報工学専攻（M） 医療工学専攻（M）	24	○ 既設学科（空間創造学部都市環境学科、未来デザイン学部人間社会科学科、北海道自動車短期大学自動車工業科第一部、自動車工業科第二部）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	北海道薬科大学大学院	届出	専攻設置又 は課程変更	薬学研究科 臨床薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 既設学科（北海道工業大学医療工学部義肢装具学科）の入学定員超過の是正に努めること。  ○ 既設学科（北海道工業大学空間創造学部都市環境学科、未来デザイン学部人間社会科学科、北海道自動車短期大学自動車工業科第一部、自動車工業科第二部）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	八戸工業大学	届出	学部学科設置	工学部 土木建築工学科	21	○ 既設学科（工学部土木建築工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	仙台大学	届出	学部学科設置	体育学部 現代武道学科	23	○ 既設学科（体育学部体育学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	東北文化学園大学	届出	学部学科設置	医療福祉学部 看護学科	22	○ 既設学科（科学技術学部人間環境デザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	東北芸術大学	届出	学部学科設置	芸術学部 文芸学科	23	○ 既設学科（芸術学部歴史遺産学科、デザイン工学部企画構想学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	東北文教大学	認可	大学設置	人間科学部 子ども教育学科	22	○ 既設学科（東北文教大学短期大学部総合文化学科、人間福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	いわき明星大学	届出	学部学科設置	科学技術学部 科学技術学科	22	○ 既設学科（人文学部表現文化学科、現代社会学科、明星大学造形芸術学部造形芸術学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	筑波学院大学	届出	学部設置	経営情報学部 経営情報学科	22	○ 既設学科（東京家政学院大学現在生活学部人間福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	つくば国際大学【再掲】	認可	学部学科設置	医療保健学部 保健栄養学科	21	○ 既設学科（産業社会学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	産業社会学部 メディア社会学科	22	
私立	宇都宮共和大学	認可	学部設置	子ども生活学部 子ども生活学科	23	○ 既設学科（シティライフ学部シティライフ学科、宇都宮短期大学音楽科、人間福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国公立	大学名等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	国際医療福祉大学	届出	学部設置	福岡看護学部 看護学科	21	○ 既設学科（保健医療学部言語聴覚学科）の入学定員超過の是正に努めること。
			学部学科設置	医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	21	
	国際医療福祉大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 医療・生命薬学専攻（D）（4年制）	24	
私立	作新学院大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科	22	○ 既設学科（人間文化学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	獨協医科大学大学院	認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	24	○ 既設学科（姫路獨協大学外国語学部外国語学科、法学部法律学科、医療保健学部こども保健学科、薬学部医療薬学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	埼玉工業大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 電子工学専攻（D） 応用化学専攻（D）	22	○ 既設学科（工学部情報システム学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	城西大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬科学専攻（D）（3年制）	24	○ 既設学科（城西国際大学国際人文学部国際文化学科、国際交流学科、薬学部医療薬学科、福祉総合学部福祉総合学科、環境社会学部環境社会学部、観光学部ウェルネスツーリズム学科、城西短期大学ビジネス総合学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
私立	東京国際大学	届出	学部学科設置	人間社会学部 スポーツ科学科	24	○ 既設学科（商学部商学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	獨協大学	届出	学部学科設置	外国語学部 交流文化学科	21	○ 既設学科（姫路獨協大学外国語学部外国語学科、法学部法律学科、医療保健学部こども保健学科、薬学部医療薬学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	日本薬科大学	届出	学部学科設置	薬学部 薬学科（6年制） 医療ビジネス薬科学科（4年制）	23	○ 既設学科（近畿医療福祉大学社会福祉学部生活医療福祉学科、健康スポーツコミュニケーション学科、臨床福祉心理学科、経営福祉ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	東京理科大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	科学教育研究科 科学教育専攻（D）	23	○ 既設学科（諏訪東京理科大学システム工学部機械システム工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
			専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬科学専攻（D）（3年制）	24	
			専攻設置又は課程変更	国際防災科学研究科 火災科学専攻（D）	24	
私立	川村学園女子大学【再掲】	届出	学部学科設置	生活創造学部 生活文化学科	23	○ 既設学科（文学部国際英語学科、教育学部児童教育学科、社会教育学部生活文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
	川村学園女子大学大学院【再掲】	届出	専攻設置又は課程変更	人文科学研究科 教育学専攻（M）	23	
私立	秀明大学	届出	学部設置	観光ビジネス学部 観光ビジネス学科	21	○ 既設学科（学校教師学部中等教育教員養成課程）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	城西国際大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	24	○ 既設学科（国際人文学部国際文化学科、国際交流学科、福祉総合学部福祉総合学科、薬学部医療薬学科、観光学部ウェルネスツーリズム学科、城西短期大学ビジネス総合学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
	城西国際大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	

国公立	大学名等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	聖徳大学	届出	学部設置	人間栄養学部 人間栄養学科	22	○ 既設学科（人文学部英米文化学科、女性キャリア学科、生涯教育文化学科、音楽学部演奏学科、聖徳大学短期大学保育科第二部、総合文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部設置	心理・福祉学部 心理学科 社会福祉学科 心理学科（通信教育課程） 社会福祉学科（通信教育課程）	24	
私立	千葉科学大学	届出	学部学科設置	危機管理学部 動物・環境システム学科	21	○ 既設学科（倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	危機管理学部 医療危機管理学科	21	
		届出	学部学科設置	危機管理学部 環境危機管理学科	24	
		届出	学部学科設置	危機管理学部 動物危機管理学科	24	
	千葉科学大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	危機管理学研究科 危機管理学専攻（D）	22	
		認可	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬科学専攻（D）（3年制）	22	
		届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
私立	東京基督教大学大学院	認可	大学院設置	神学研究科 神学専攻（M）	24	○ 既設学科（神学部国際キリスト教福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	東京成徳大学	認可	学部設置	経営学部 経営学科	21	○ 既設学科（応用心理学部福祉心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	応用心理学部 健康・スポーツ心理学科	21	
私立	大妻女子大学大学院	届出	研究科設置	人間文化研究科 人間生活科学専攻（D） 言語文化学専攻（D）	22	○ 既設学科（大妻女子大学短期大学部国文科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	杏林大学	届出	学部学科設置	保健学部 理学療法学科	21	○ 既設学科（保健学部臨床工学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部学科設置	外国語学部 観光交流文化学科	22	
		届出	学部学科設置	保健学部 作業療法学科	23	
		届出	学部学科設置	外国語学部 中国語学科	23	
	杏林大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	保健学研究科 看護学専攻（D）	22	
私立	工学院大学	届出	学部学科設置	工学部 応用化学科 環境エネルギー化学科	21	○ 既設学科（工学部第1部電気システム工学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部学科設置	建築学部 まちづくり学科 建築学科 建築デザイン学科	23	
	工学院大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 システムデザイン専攻（M）	23	

国 公 私 株	大 学 名 等	認 可 又 は 届 出 の 別	設 置 区 分	学 部 名 ・ 研 究 科 名 等	開 設 年 度	留 意 事 項
私立	駒澤大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	医療健康科学研究科 診療放射線学専攻（D）	22	○ 既設学科（苫小牧駒澤大学国際文化学部国際文化学科、国際コミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	駒沢女子大学	認可	学部設置	人間健康学部 健康栄養学科	21	○ 既設学科（人文学部映像コミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	杉野服飾大学大学院	認可	大学院設置	造形研究科 造形専攻（M）	24	○ 既設学科（杉野服飾大学短期大学部服飾学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	専修大学	届出	学部設置	人間科学部 心理学科 社会学科	22	○ 既設学科（石巻専修大学理工学部基礎理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	文学部 日本語学科 日本文学文化学科 哲学科 歴史学科 環境地理学科 人文・ジャーナリズム学科	22	
	専修大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	商学研究科 会計学専攻（D）	22	
私立	玉川大学大学院	届出	研究科設置	脳情報研究科 脳情報専攻（D）	22	○ 既設学科（農学部生物資源学科、生物環境システム学科、生命化学科、教育学部乳幼児発達学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	津田塾大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	理学研究科 情報科学専攻（D）	24	○ 既設学科（学芸学部情報科学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	帝京大学	届出	学部学科設置	経済学部 地域経済学科	23	○ 既設学科（帝京大学短期大学人間文化学科、現代ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部設置	教育学部 教育文化学科 初等教育学科	24	
	帝京大学大学院【再掲】	認可	専攻設置又は課程変更	公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻（P）	23	
	届出	研究科設置	外国語研究科 超域文化専攻（M）	23		
	届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 日本史・文化財学専攻（M）	24		
	届出	専攻設置又は課程変更	医療技術学研究科 柔道整復学専攻（M）	24		
私立	帝京科学大学【再掲】	届出	学部学科設置	こども学部 児童教育学科	22	○ 既設学科（生命環境学部生命科学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部学科設置	医療科学部 東京理学療法学科	22	○ 既設学科（医療科学部作業療法学科、こども学部こども学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	医療科学部 東京柔道整復学科	22	
		届出	学部学科設置	医療科学部 看護学科	24	

国 公 私 株	大 学 名 等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名 等	開設年度	留意事項
私立	東海大学	届出	学部設置	観光学部 観光学科	22	○ 既設学科（総合経営学部マネジメント学科、国際文化学部国際コミュニケーション学科、工学部土木工学科、産業工学部環境保全学科、電子知能システム工学科、機械システム工学科、建築学科、海洋学部航海工学科、東海大学短期大学部経営情報学科、東海大学福岡短期大学情報処理学科、国際文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	工学部 医用生体工学科	22	
		届出	学部学科設置	海洋学部 環境社会学科 海洋地球科学科	23	
		届出	学部学科設置	国際文化学部 デザイン文化学科	24	
	東海大学大学院	届出	研究科設置	情報通信学研究科 情報通信学専攻（M）	24	
私立	東京家政学院大学	届出	学部学科設置	家政学部 現代家政学科	21	○ 既設学科（筑波学院大学経営情報学部経営情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	家政学部 健康栄養学科	21	
私立	東京家政大学	届出	学部学科設置	家政学部 児童教育学科	21	○ 既設学科（家政学部環境教育学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部学科設置	人文学部 心理カウンセリング学科	21	
		届出	学部学科設置	人文学部 教育福祉学科	21	
	東京家政大学大学院	届出	研究科設置	人間生活学総合研究科 人間生活学専攻（D） 児童学児童教育学専攻（M） 健康栄養学専攻（M） 造形学専攻（M） 英語・英語教育研究専攻（M） 臨床心理学専攻（M） 教育福祉学専攻（M）	24	
私立	東京工芸大学	届出	学部学科設置	芸術学部 ゲーム学科	22	○ 既設学科（工学部コンピュータ応用学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	東京都市大学	認可	学部設置	都市生活学部 都市生活学科	21	○ 既設学科（工学部原子力安全工学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		認可	学部設置	人間科学部 児童学科	21	
	東京都市大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 エネルギー化学専攻	22	
私立	東京農業大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	農学研究科 バイオセラピー学専攻（D）	24	○ 既設学科（東京情報大学情報文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国 公 私 株	大 学 名 等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	日本大学	届出	学部学科設置	生産工学部 環境安全工学科	21	○ 既設学科（工学部土木工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	生産工学部 創生デザイン学科	21	
		届出	学部学科設置	経済学部第一部 金融公共経済学科	22	
		届出	学部学科設置	国際関係学部 国際総合政策学科	23	
		届出	学部学科設置	国際関係学部 国際教養学科	23	
	日本大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
私立	文化学園大学	届出	学部学科設置	現代文化学部 応用健康心理学科	22	○ 既設学科（現代文化学部国際文化・観光学科、文化学園大学短期大学部服装学科、生活造形学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	明星大学	届出	学部設置	教育学部 教育学科 教育学部（通信教育課程）	22	○ 既設学科（造形芸術学部造形芸術学科、いわき明星大学人文学部表現文化学科、現代社会学科、薬学部薬学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	人文学部 心理学科 日本文化学科 福祉実践学科	22	
		届出	学部学科設置	理工学部 総合理工学科	22	
		届出	学部設置	経営学部 経営学科	24	
私立	目白大学	届出	学部学科設置	人間学部 児童教育学科	21	○ 既設学科（外国語学部韓国語学科）の入学定員超過の是正に努めること。
	目白大学大学院	届出	研究科設置	リハビリテーション学研究所 リハビリテーション学専攻（M）	24	
私立	神奈川工科大学	認可	学部学科設置	応用バイオ科学部 栄養生命科学科	22	○ 既設学科（工学部電気電子情報工学科、応用化学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	鎌倉女子大学	届出	学部設置	教育学部 教育学科	21	○ 既設学科（家政学部家政保健学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	相模女子大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	栄養科学研究科 栄養科学専攻（D）	22	○ 既設学科（学芸学部英語文化コミュニケーション学科、メディア情報学科、人間社会学部社会マネジメント学科、相模女子短期大学部生活デザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	松蔭大学	認可	学部設置	観光文化学部 観光文化学科	21	○ 既設学科（経営文化学部ビジネスマネジメント学科、コミュニケーション文化学部生活心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	経営文化学部 経営法学科	24	
		届出	学部学科設置	コミュニケーション文化学部 生活心理学科	24	
私立	昭和音楽大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	音楽研究科 音楽芸術表現専攻（M）	23	○ 既設学科（音楽学部器楽学科）の入学定員超過の是正に努めること。  ○ 既設学科（音楽学部作曲学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国公立	大学名等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	長岡造形大学	届出	学部学科設置	造形学部 美術・工芸学科	21	○ 既設学科（造形学部プロダクトデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	新潟医療福祉大学	届出	学部設置	医療経営管理学部 医療情報管理学科	22	○ 既設学科（医療技術学部言語聴覚学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部学科設置	医療技術学部 臨床技術学科	23	
私立	金沢学院大学【再掲】	認可	学部設置	スポーツ健康学部 スポーツ健康学科	23	○ 既設学科（経営情報学部情報ビジネス学科、美術文化学部芸術文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	金沢工業大学	届出	学部学科設置	工学部 情報工学科	24	○ 既設学科（バイオ・化学部応用バイオ学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	北陸学院大学	届出	学部学科設置	人間総合学部 社会学科	24	○ 既設学科（北陸学院大学短期大学部コミュニティ文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	佐久大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科	20	○ 既設学科（佐久大学信州短期大学部総合ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
	佐久大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	24	
私立	諏訪東京理科大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	工学・マネジメント研究科 工学・マネジメント専攻（D）	24	○ 既設学科（諏訪東京理科大学システム工学部機械システム工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	岐阜聖徳学園大学	届出	学部学科設置	教育学部 学校教育課程	21	○ 既設学科（岐阜聖徳学園大学短期大学部生活学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	静岡福祉大学	届出	学部学科設置	社会福祉学部 健康福祉学科	21	○ 既設学科（社会福祉学部福祉心理学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	聖隷クリストファー大学	届出	学部学科設置	社会福祉学部 臨床介護福祉学科	23	○ 既設学科（社会福祉学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	リハビリテーション学部 理学療法学科	23	
		届出	学部学科設置	リハビリテーション学部 作業療法学科	23	
		届出	学部学科設置	リハビリテーション学部 言語聴覚学科	23	
	届出	専攻設置又は課程変更	看護学研究科 看護学専攻（D）	23		
	届出	専攻設置又は課程変更	リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻（D）	23		
	届出	専攻設置又は課程変更	社会福祉学研究科 社会福祉学専攻（D）	23		
私立	浜松大学	届出	学部学科設置	健康プロデュース学部 健康柔道整復学科	22	○ 既設学科（ビジネスデザイン学部経営情報学科、富士常葉大学社会環境学部社会環境学科、常葉学園短期大学日本語日本文学科、音楽科、英語英文学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	富士常葉大学	届出	学部設置	社会環境学部 社会環境学科	22	○ 既設学科（浜松大学健康プロデュース学部健康鍼灸学科、ビジネスデザイン学部経営情報学科、保健医療学部作業療法学科、常葉学園短期大学日本語日本文学科、音楽科、英語英文学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国 公 私 株	大 学 名 等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	愛知工業大学	届出	学部学科設置	経営学部 経営学科	21	○ 既設学科（工学部応用化学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部学科設置	情報科学部 情報科学科	21	
		届出	学部学科設置	工学部 建築学科	21	
私立	愛知学院大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	心身科学研究科 健康科学専攻（D）	24	○ 既設学科（文学部宗教学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		認可	研究科設置	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	
私立	愛知文教大学	届出	学部設置	人文学部 人文学科	22	○ 既設学科（愛知文教女子短期大学幼児教育学科第1部、幼児教育学科第3部）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	桜花学園大学	届出	学部設置	学芸学部 英語学科	21	○ 既設学科（名古屋短期大学現代教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	至学館大学	届出	学部学科設置	健康科学部 こども健康・教育学科	22	○ 既設学科（健康科学部健康スポーツ学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	中部大学【再掲】	届出	学部学科設置	生命健康科学部 理学療法学科	22	○ 既設学科（工学部情報工学科、人文学部心理学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部学科設置	生命健康科学部 作業療法学科	22	
		届出	学部学科設置	生命健康科学部 臨床工学科	22	
		届出	学部学科設置	経営情報学部 経営会計学科	23	
	届出	専攻設置又は課程変更	国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻（D）	22		
	認可	研究科設置	生命健康科学研究科 生命医科学専攻（M） 看護学専攻（M）	23		
	認可	研究科設置	教育学研究科 教育学専攻（M）	24		
私立	豊橋創造大学	届出	学部学科設置	保健医療学部 看護学科	21	○ 既設学科（豊橋創造大学短期大学部キャリアプランニング科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	名古屋芸術大学大学院	認可	研究科設置	人間発達学研究科 子ども発達学専攻（M）	23	○ 既設学科（音楽学部演奏学科、音楽文化創造学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	鈴鹿医療科学大学	認可	学部設置	薬学部 薬学科（6年制）	20	○ 既設学科（保健衛生学部放射線技術科学科、医用工学部臨床工学科）の入学定員超過の是正に努めること。
	鈴鹿医療科学大学大学院	届出	研究科設置	医療科学研究科 医療科学専攻（D）	22	○ 既設学科（保健衛生学部医療福祉学科、鍼灸学部鍼灸学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	四日市看護医療大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	23	○ 既設学科（四日市大学経済学部経済学科、環境情報学部環境情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	びわこ成蹊スポーツ大学大学院	認可	大学院設置	スポーツ学研究科 スポーツ学専攻（M）	24	○ 既設学科（大阪成蹊大学マネジメント学部マネジメント学科、芸術学部環境デザイン学科、芸術学科、大阪成蹊短期大学創造文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国 公 私 株	大 学 名 等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	大谷大学	届出	学部学科設置	文学部 教育・心理学科	21	○ 既設学科（大谷大学短期大学部仏教科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	京都外国語大学	届出	学部学科設置	外国語学部 国際教養学科	22	○ 京都外国語短期大学キャリア英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	京都学園大学大学院	認可	研究科設置	バイオ環境研究科 バイオ環境専攻（D）	22	○ 既設学科（経済学部経済学科、法学部法学科、人間文化学部メディア社会学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	京都光華女子大学	届出	学部設置	キャリア形成学部 キャリア形成学科	22	○ 既設学科（京都光華女子大学短期大学部ライフデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部設置	健康科学部 健康栄養学科	22	
私立	京都嵯峨芸術大学	届出	学部学科設置	芸術学部 デザイン学科	23	○ 既設学科（造形学部造形学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	京都精華大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	マンガ研究科 マンガ専攻（D）	24	○ 既設学科（デザイン学部建築学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	京都造形芸術大学【再掲】	届出	学部学科設置	芸術学部 プロダクトデザイン学科	23	○ 既設学科（芸術学部芸術表現・アートプロデュース学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部学科設置	芸術学部 マンガ学科	23	
私立	同志社大学	届出	学部設置	心理学部 心理学科	21	○ 既設学科（理工学部数理システム学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部設置	グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科	23	
	同志社大学大学院	届出	研究科設置	グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻（D）	22	
		届出	研究科設置	脳科学研究科 発達加齢脳専攻（D）	24	
		届出	専攻設置又は課程変更	生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻（M）（D）	24	
		届出	専攻設置又は課程変更	生命医科学研究科 医生命システム専攻（M）（D）	24	
認可	専攻設置又は課程変更	スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻（D）	24			
私立	同志社女子大学	届出	学部設置	表象文化学部 英語英文学科	21	○ 既設学科（同志社大学理工学部数理システム学科）の入学定員超過の是正に努めること。
	同志社女子大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	
私立	花園大学	届出	学部学科設置	社会福祉学部 児童福祉学科	21	○ 既設学科（文学部国際禅学科、文化遺産学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	明治国際医療大学大学院	認可	大学院通信開設	鍼灸学研究科（通信教育課程） 鍼灸学専攻（M）	23	○ 既設学科（鍼灸学部鍼灸学科、保健医療学部柔道整復学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	専攻設置又は課程変更	鍼灸学研究科 臨床鍼灸学専攻（M）	23	

国 公 私 株	大 学 名 等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	大阪芸術大学	届出	学部学科設置	芸術学部 初等芸術教育学科 初等芸術教育学科（通信教育課程）	22	○ 既設学科（芸術学部文芸学科、放送学科、舞台芸術学科、キャラクター造形学科）の入学定員超過の是正に努めること。  ○ 既設学科（大阪芸術大学短期大学部英米文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	大阪工業大学	届出	学部学科設置	工学部 ロボット工学科	22	○ 既設学科（広島国際大学工学部情報通信学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	工学部 生命工学科	22	
	大阪工業大学大学院【再掲】	届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 空間デザイン専攻（D）	22	
私立	大阪樟蔭女子大学	届出	学部設置	児童学部 児童学科	21	○ 既設学科（学芸学部インテリアデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	大阪総合保育大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	児童保育研究科 児童保育専攻（D）	24	○ 既設学科（大阪城南女子短期大学現代生活学科、総合保育学科、人間福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	大阪人間科学大学	届出	学部学科設置	人間科学部 医療福祉学科	24	○ 既設学科（人間科学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	人間科学部 子ども福祉学科	24	
		届出	学部学科設置	人間科学部 医療心理学科	24	
私立	近畿大学	届出	学部設置	総合社会学部 総合社会学科	22	○ 既設学科（産業理工学部生物環境化学科）の入学定員超過の是正に努めること。  ○ 既設学科（近畿大学九州短期大学生生活福祉情報科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	生物理工学部 食品安全工学科	22	
		届出	学部学科設置	生物理工学部 システム生命科学科	22	
		届出	学部学科設置	生物理工学部 人間工学科	22	
		届出	学部学科設置	生物理工学部 医用工学科	22	
		届出	学部設置	建築学部 建築学科	23	
	近畿大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24	
	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬科学専攻（D）（3年制）	24		

国公 私株	大学名等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	摂南大学	認可	学部学科設置	理工学部 生命科学科	22	○ 既設学科（広島国際大学工学部情報通信学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部設置	経済学部 経済学科	22	
		届出	学部学科設置	理工学部 住環境デザイン学科	22	
		届出	学部学科設置	理工学部 都市環境工学科	22	
		認可	学部設置	看護学部 看護学科	24	
	摂南大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	
私立	相愛大学【再掲】	届出	学部学科設置	人文学部 仏教文化学科	23	○ 既設学科（人文学部日本文学学科、人間発達学部発達栄養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	人文学部 文化交流学科	23	
		届出	学部学科設置	音楽学部 音楽マネジメント学科	23	
私立	梅花女子大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	22	○ 既設学科（文化表現学部国際英語学科、日本文化創造学科、情報メディア学科、梅花女子大学短期大学部生活科学科、英語コミュニケーション学科、日本語表現科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部設置	心理こども学部 こども学科 心理学科	22	
		認可	学部設置	食文化学部 食文化学科	24	
私立	羽衣国際大学	届出	学部学科設置	人間生活学部 食物栄養学科	23	○ 既設学科（現代社会学部現代社会学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	阪南大学	届出	学部設置	国際観光学部 国際観光学科	22	○ 既設学科（流通学部流通学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	東大阪大学	届出	学部学科設置	こども学部 アジアこども学科	23	○ 既設学科（東大阪大学短期大学部健康栄養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	ブール学院大学	届出	学部学科設置	国際文化学部 教養学科	24	○ 既設学科（ブール学院短期大学部秘書課）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	桃山学院大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 比較文化学専攻（M）	24	○ 既設学科（経済学部経済学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	近畿医療福祉大学【再掲】	届出	学部学科設置	社会福祉学部 経営福祉ビジネス学科	21	○ 既設学科（社会福祉学部生活医療福祉学科、臨床福祉心理学科、日本薬科大学医療ビジネス薬科学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	社会福祉学部 健康スポーツコミュニケーション学科	23	
私立	甲子園大学	届出	学部学科設置	心理学部 現代応用心理学科	23	○ 既設学科（栄養学部フードデザイン学科、甲子園短期大学生活環境学科、幼児教育保育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国公立 私	大学名等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	神戸芸術工科大学	届出	学部学科設置	先端芸術学部 まんが表現学科	22	○ 既設学科（大阪商業大学総合経営学部商学科）の入学定員超過の是正に努めること。
			学部学科設置	先端芸術学部 映像表現学科	22	
			学部学科設置	先端芸術学部 クラフト・美術学科	22	
私立	神戸松蔭女子学院大学	届出	学部学科設置	文学部 英語学科	23	○ 既設学科（文学部総合文芸学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			学部学科設置	文学部 日本語日本文化学科	23	
私立	神戸女子大学	届出	学部学科設置	健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科	21	○ 既設学科（文学部教育学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	宝塚大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	22	○ 既設学科（造形芸術学部アート・デザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	姫路獨協大学	認可	学部設置	薬学部 医療薬学科（6年制）	19	○ 既設学科（外国語学部外国語学科、法学部法律学科、医療保健学部こども保健学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	帝塚山大学	認可	学部学科設置	現代生活学部 こども学科	21	○ 既設学科（人文学部英語コミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部設置	法学部 法学科	
	帝塚山大学大学院	届出	研究科設置	心理科学研究科 心理科学専攻（M）	24	
私立	天理大学	届出	学部設置	国際学部 外国語学科 地域文化学科	22	○ 既設学科（文学部国文学国語学科）の入学定員超過の是正に努めること。
私立	岡山商科大学	届出	学部学科設置	経営学部 経営学科	21	○ 既設学科（経営学部商学科、法学部法学科、経済学部経済学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	岡山理科大学	届出	学部学科設置	工学部 建築学科	23	○ 既設学科（倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科、千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部航空・輸送安全学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部設置	生物地球学部 生物地球学科	
		届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 建築学専攻（M）	23	
		届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 生体医工学専攻（M）	23	
		届出	専攻設置又は課程変更	理学研究科 動物学専攻（M）	24	
私立	川崎医科大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	医学研究科 医科学専攻（D）	22	○ 既設学科（川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、川崎医療短期大学医療介護福祉科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	川崎医療福祉大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	医療技術学研究科 臨床工学専攻（M）、（D）	23	○ 既設学科（医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、川崎医療短期大学医療介護福祉科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	環太平洋大学【再掲】	届出	学部学科設置	体育学部 健康科学科	24	○ 既設学科（環太平洋大学短期大学部健康スポーツ学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国公立 私	大学名等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	吉備国際大学	認可	通信開設	心理学部（通信教育課程） 子ども発達教育学科	24	○ 既設学科（保健医療福祉学部看護学科）の入学定員超過の是正に努めること。  ○ 既設学科（心理学部心理学科、文化財学部文化財修復国際協力学科、社会学部国際社会学科、九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科、子ども保育福祉学科、保健科学部視機能療法学科、吉備国際大学短期大学部保健科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	倉敷芸術科学大学	届出	学部学科設置	産業科学技術学部 経営情報学科	23	○ 既設学科（千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部航空・輸送安全学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	山陽学園大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	21	○ 既設学科（総合人間学部生活心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部設置	総合人間学部 言語文化学科	21	
私立	就実大学	届出	学部設置	教育学部 初等教育学科	23	○ 既設学科（就実短期大学実践コミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
	就実大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	人文科学研究科 初等教育学専攻（M）	23	
		認可	研究科設置	医療薬学研究科 疾病治療薬学専攻（D）（4年制）	24	
私立	中国学園大学大学院	認可	研究科設置	子ども学研究科 子ども学専攻（M）	23	○ 既設学科（中国短期大学保育学科）の入学定員超過の是正に努めること。  ○ 既設学科（現代生活学部人間栄養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	比治山大学	認可	学部学科設置	現代文化学部 子ども発達教育学科	21	○ 既設学科（比治山大学短期大学部総合生活デザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	広島国際大学	届出	学部設置	医療経営学部 医療経営学科	23	○ 既設学科（工学部情報通信学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	心理科学部 コミュニケーション心理学科	23	
		届出	学部学科設置	保健医療学部 総合リハビリテーション学科	23	
	広島国際大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	
		届出	専攻設置又は課程変更	看護学研究科 看護学専攻（D）	24	
私立	広島文化学園大学	認可	学部設置	学芸学部 子ども学科 音楽学科	22	○ 既設学科（社会情報学部健康福祉学科、広島文化学園短期大学コミュニティ生活学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
	広島文化学園大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	看護学研究科 看護学専攻（D）	24	

国公 私株	大 学 名 等	認可又 は届出 の別	設置区分	学部名・研究科名 等	開設 年度	留意事項
私立	広島文教女子大学	届出	学部学科設置	人間科学部 グローバルコミュニケーション学科	22	○ 既設学科（人間科学部初等教育学科）の入学定員超過の是正に努めること。  ○ 既設学科（人間科学部人間福祉学科、心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	福山大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 既設学科（人間文化学部人間文化学科、メディア情報文化学科、工学部電子ロボット工学科、建築・建設学科、情報工学科、機械システム工学科、生命工学部生物工学科、生命栄養科学科、薬学部薬学科、福山平成大学福祉健康学部福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	安田女子大学	届出	学部学科設置	文学部 書道学科	23	○ 既設学科（家政学部生活デザイン学科）の入学定員超過の是正に努めること。
		届出	学部設置	心理学部 心理学科	24	
		届出	学部設置	教育学部 児童教育学科	24	
私立	東亜大学	届出	学部学科設置	人間科学部 心理臨床・子ども学科	24	○ 既設学科（医療学部健康栄養学科、芸術学部アート・デザイン学科、トータルビューティ学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	人間科学部 国際交流学科	24	
	届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 医療科学専攻（D）	23		
私立	山口東京理科大学	届出	学部学科設置	工学部 機械工学科	21	○ 既設学科（諏訪東京理科大学システム工学部機械システム工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	工学部 電気工学科	21	
私立	四国大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	21	○ 既設学科（文学部書道文化学科、経営情報学部メディア情報学科、生活科学部生活科学科、四国大学短期大学部ビジネス・コミュニケーション科、人間健康科、幼児教育保育科、音楽科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	徳島文理大学	届出	学部学科設置	保健福祉学部 理学療法学科	22	○ 既設学科（人間生活学部メディアデザイン学科、建築デザイン学科、音楽学部音楽学科、薬学部薬学科、文学部日本文学科、英語英米文化学科、文化財学科、理工学部機械創造工学科、電子情報工学科、ナノ物質工学科、香川薬学部薬学科、徳島文理大学短期大学部生活科学科、保育科、言語コミュニケーション学科、音楽科、商学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	保健福祉学部 診療放射線学科	24	
		届出	学部学科設置	保健福祉学部 臨床工学科	24	
	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24		
私立	聖カタリナ大学	届出	学部学科設置	人間健康福祉学部 人間社会学科	23	○ 既設学科（人間健康福祉学部社会福祉学科、健康福祉マネジメント学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

国 公 私 株	大 学 名 等	認可又は届出の別	設置区分	学部名・研究科名等	開設年度	留意事項
私立	九州産業大学	届出	学部学科設置	情報科学部 情報科学科	21	○ 既設学科（商学部第二部商学科、芸術学部美術学科、九州造形短期大学造形芸術学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	工学部 住居・インテリア設計学科	22	
	九州産業大学大学院【再掲】	届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 産業技術デザイン専攻（M）、（D）	23	
		届出	専攻設置又は課程変更	芸術研究科 造形表現専攻（M）	24	
私立	筑紫女学園大学	届出	学部設置	人間科学部 人間科学科	23	○ 既設学科（筑紫女学園大学短期大学部現代教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	日本経済大学大学院【再掲】	認可	大学院設置	経営学研究科 経営学専攻（M）	24	○ 既設学科（福岡こども短期大学こども教育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	活水女子大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	21	○ 既設学科（文学部現代日本文化学科、人間関係学科、健康生活学部生活デザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	長崎ウエスレヤン大学	届出	学部学科設置	現代社会学部 経済政策学科	22	○ 既設学科（現代社会学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	長崎総合科学大学	届出	学部設置	環境・建築学部 人間環境学科 建築学科	21	○ 既設学科（工学部船舶工学科、機械工学科、情報学部経営情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	熊本学園大学	届出	学部学科設置	社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科	21	○ 既設学科（社会福祉学部第二部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	崇城大学	届出	学部学科設置	情報学部 情報学科	21	○ 既設学科（工学部エコデザイン学科、建築学科、宇宙航空システム工学科、芸術学部美術学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 応用情報学専攻（M）、（D）	23	
	認可	研究科設置	薬学研究科 薬学専攻（D）（4年制）	24		
私立	別府大学	届出	学部学科設置	文学部 史学・文化財学科	21	○ 既設学科（食物栄養科学部発酵食品学科、別府大学短期大学部地域総合科学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	九州保健福祉大学大学院	認可	研究科設置	医療薬学研究科 医療薬学専攻（D）（4年制）	24	○ 既設学科（吉備国際大学保健医療福祉学部看護学科）の入学定員超過の是正に努めること。  ○ 既設学科（社会福祉学部臨床福祉学科、子ども保育福祉学科、保健科学部視機能療法学科、吉備国際大学社会学部国際社会学科、保健医療福祉学部社会福祉学科、心理学部心理学科、子ども発達教育学科、文化財学部文化財修復国際協力学科、アニメーション文化学科、国際環境経営学部環境経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
私立	南九州大学	届出	学部設置	環境園芸学部 環境園芸学科	21	○ 既設学科（健康栄養学部食品健康学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		認可	学部設置	人間発達学部 子ども教育学科	24	
私立	鹿児島国際大学	認可	学部学科設置	国際文化学部 音楽学科	22	○ 既設学科（福祉社会学部現代社会学科、鹿児島国際大学短期大学部情報文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	学部学科設置	国際文化学部 国際文化学科	23	

※ 留意事項は、今年度の調査時の大学状況に基づき付したものである。

## 大学の設置認可・届出の総件数

○ 設置届出制の導入後、設置総件数は増加したが、最近5年間は減少傾向。

○ 組織改編全体の過半を届出設置が占める。

(16年度58.5%、17年度67.6%、18年度73.9%、19年度68.8%、20年度74.8%、21年度75.1%、22年度77.2%、23年度74.9%、24年度77.5%、25年度75.5%)

平成15年4月から設置届出制を導入  
(平成16年度4月設置・開設分)

### 設置認可・届出の総件数の推移

開設年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
認可	277	196	127	126	110	87	78	66	52	53	46	
届出	1	276	265	356	243	258	235	223	155	183	139	
設置総件数	278	472	392	482	353	345	313	289	207	236	185	
総数の 事項別 内訳	大学・短大	155 (1)	249 (194)	213 (165)	315 (260)	224 (175)	218 (174)	196 (146)	164 (133)	124 (102)	105 (86)	116 (93)
	大学院	123 —	223 (82)	179 (100)	167 (96)	129 (68)	127 (84)	124 (89)	118 (89)	83 (52)	131 (105)	69 (46)
	公立	7 (1)	6 (1)	12 (5)	21 (18)	15 (14)	19 (18)	10 (7)	7 (7)	3 (1)	8 (7)	2 (1)
	大学院	24 —	26 (11)	15 (5)	26 (19)	15 (6)	22 (13)	22 (13)	14 (9)	10 (6)	10 (7)	13 (11)
	小計	31 (1)	32 (12)	27 (10)	47 (37)	30 (20)	41 (31)	32 (20)	21 (16)	13 (7)	18 (14)	15 (12)
	私立	148 —	243 (193)	201 (160)	294 (242)	209 (161)	199 (156)	179 (139)	157 (127)	121 (101)	97 (80)	114 (92)
大学院	99 —	197 (71)	164 (95)	141 (77)	114 (62)	105 (71)	102 (76)	104 (80)	73 (47)	121 (89)	56 (35)	
小計	247 —	440 (264)	365 (255)	435 (319)	323 (223)	304 (227)	281 (215)	261 (207)	194 (148)	218 (169)	170 (127)	

法科大学院の認可が集中  
公立：2 私立：46

薬学関係学科の届出が集中  
公立：6 私立：62

薬学関係博士課程（4年制）の認可・届出が集中  
(認可) 公立：0 私立：10  
(届出) 公立：3 私立：28

(注1) 件数は、設置組織数ベース。

(注2) 事項別内訳の括弧内は、届出による内数。

(注3) 平成18年度開設の薬学関係学科については、形式的な組織改編を伴わない修業年限変更も含む。

(注4) 平成24年度開設の薬学関係博士課程（4年制）については、形式的な組織改編を伴わない修業年限変更も含む。

